



岡山産業保健推進センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第32号 2010年10月1日（金）

発行 岡山産業保健推進センター 所長 石川 紘



I N D E X

1 相談員アドバイス

『10円玉をつくる人たち』を考える

産業医学相談員 山本 秀樹

2 センターからのお知らせ（相談・研修・行事案内・新規教材）

3 トピックス

*第8回女性医療フォーラムのお知らせ

4 産業保健相談 回答例

*粉じん作業における「鉱物」「鉱石」「土石」の定義とは？

5 編集後記

1 相談員アドバイス

『10円玉をつくる人たち』を考える

産業医学相談員 山本 秀樹

8月5日にチリの銅鉱山で起きた落盤事故で33人が生き埋めになりました。当初、生存が絶望視されていましたが8月22日に生きていることが確認され世界中に歓びが広がりました。しかし、生存者が避難している地下700メートルの深い部分まで救助用の穴を掘り進めるには4ヶ月程度かかり、12月のクリスマスに間に合うかど

うかというところだそうです。これだけの長期間、鉱山事故で閉じ込められることは史上初めてのことで、救出までの生存者が無事で過ごせるのかという不安も伝わりました。その後、支援物資輸送用の坑道が開通し、水や食糧等の物資が届くようになり緊急事態はしのぐことができ、救出用の坑道の採掘工事も順調に進んでおり当初より早く 11 月中に救出できるかも知れないというところですが、いずれにせよ 10 月中は 33 人の人々は地底で暮らさなくてはなりません。その苦労は坑内という厳しい環境に加えて閉所空間に閉ざされ、家族・友人にも会えないという精神的苦痛もあり壮絶なものだと思います。

銅は我々人類が最初に使い始めた金属であり、私たちが日々使っている 10 円玉やケーブル、電子部品等の各種の工業製品に使われています。古くは我が国も、鉱毒事件で知られている足尾銅山を始め銅の鉱石を産出していましたが、近年は輸入に頼っております。

我が国の銅鉱石の輸入先は今回事故のあったチリが最も多く、インドネシアやアフリカ・ザンビア国などが続きます。私も、9 月には出張先のザンビアで銅鉱山の採掘現場(露天掘り)を見ることができました。ここは、50 年以上掘り続けて、地表からの深さは 500 メートルもあるとのこと、上から見ると岩だらけの巨大ダムを見ているようでした。

私たちが日頃使っている 10 円玉(銅)もこのような苦労を経て作られているのだと改めて感じました。

銅に限らず、地下の鉱山作業は過酷で、落盤、火災、爆発、酸欠、有毒ガスの噴出、高気圧、高温多湿、そして珪肺(けいはい)等多くの危険と健康リスクがあります。炭坑節でも有名な三池炭鉱で昭和 38 年に起こった坑内の爆発事故では 400 名余りが亡くなるという、我が国史上最多の労働災害による死者が出ております。全国の労災病院も炭鉱で事故・労災が多発したことを契機に炭鉱の近くに作られた歴史もあります。

より危険度の高い坑内現場においては、「労働基準法」において年少者や女子の「坑内労働」の禁止規定があります。また、高い安全性が求められる「鉱山保安法」という特別な法律があり、一般の「労働安全衛生法」が適応されない部分もあります。詳しくは、鉱山に関する法律をご参照ください。

また、我が国では「鉱工業」と「鉱業」と「工業」を一括して表現することが多

いですが、我が国ではほとんどの鉱山が閉山し、岡山の鉱業を代表する柵原鉱山(硫化鉄)も平成3年に閉山しました。現在、国内で鉱業に従事する労働人口は2005年の前回の国勢調査では約32,000人(全産業の0.05%)に過ぎません。しかし、鉱業という仕事が無くなったわけではなく、我が国のハイテク産業に使われる半導体、携帯電話やリチウム電池等の電極に使われるレアアース(レアメタル)等は世界各地で採掘されております。特にアフリカ諸国には最近資源獲得に世界各国が手を伸ばしております。チリの例に限らず海外で鉱業に労働に従事している人が危険と背中合わせで作業をしている訳です。

この10月、10円玉を手にする機会がありましたら、10月いっぱい地底で過ごさなくてはならない33人のチリの鉱山労働者、世界中で鉱業労働に従事している人たちに思いをはせていただければと思います。

【山本秀樹相談員のセミナー・研修会】

日 時： 10/6 (水) 14:00~16:00

研修テーマ： 『職場における新型インフルエンザ対策について』

内 容： 2009年4月に発生した豚由来の新型インフルエンザ(H1N1)および、強毒性の鳥インフルエンザについて産業保健の観点から職場における対策を解説する。

日 時： 11/16 (火) 14:00~16:00

研修テーマ： 『職場における新型インフルエンザ対策について』

内 容： 2009年4月に発生した豚由来の新型インフルエンザ(H1N1)および、強毒性の鳥インフルエンザについて産業保健の観点から職場における対策を解説する。(10/6の研修会と基本的に内容は同じ。)

場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室

受 講 料： 無料

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

2 センターからのお知らせ (相談・研修・行事案内・新着教材)

■ 産業医研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

対 象 者 :

日医認定産業医

基礎研修の単位は取れないが、参加を希望する医師

職場の健康管理に関わる保健師・看護師等産業看護職および人事労務担当者等

受 講 料 : 2,000 円

場 所 : 岡山労災病院 3 階会議室

日 時 : 10/14 (木) 19 : 00~21 : 00

研修テーマ : 『書式を用いたメンタル対応による人事労務担当者との協力の仕方』
『実習 : " " 』

講 師 : 岩瀬 敏秀 (岡山大学院 疫学・衛生学分野)

高尾 総司 (岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師)

単 位 : 生涯研修 専門研修 1 単位 実地研修 1 単位

日 時 : 11/18 (木) 19 : 00~21 : 00

研修テーマ : 『メンタルヘルス対応における産業医面談の進め方、
産業医意見書の書き方』

『実習 : 産業医面談のロールプレイ・
産業医意見書を実際書いてみる』

講 師 : 三橋 利晴 (岡山大学院 疫学・衛生学分野 非常勤研究員)

高尾 総司 (岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師)

単 位 : 生涯研修 専門研修 1 単位 実地研修 1 単位

メールフォームでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-sangyoui.html>

F A Xでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/mousikomi/sangyouifax.pdf>

■ 岡山産業保健推進センター主催セミナー・研修会 ■

場 所： 岡山第一生命ビルディング 3階 共用会議室

受 講 料： 無料

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

【健康管理研修会】

日 時： 10/14（木） 14：00～16：00

研修テーマ： 『職場のメンタルヘルス対策とコーチングの有用性について』

内 容： 職場のメンタルヘルス対策において重要なコーチングについて分かりやすく解説します。

講 師： 道明相談員

日 時： 11/4（木） 14：00～16：00

研修テーマ： 『過重労働による健康障害とその対策』

内 容： 過重労働による健康障害とその対策について分かりやすく解説します。

講 師： 道明相談員

日 時： 12/1（水） 14：30～16：00

研修テーマ： 『健診結果の見方と健康増進』

内 容： 健診結果の見方をおさらいし、健康増進事例を紹介します。

講 師： 成松相談員

【カウンセリング研修会】

日 時： 10/7（木） 14：00～16：00

研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅢ』

内 容： ロールプレイングを通して自分の聴き方の癖に気づく。
講 師： 武田相談員

日 時： 12/2（木） 14：00～16：00
研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅣ』
内 容： ロールプレイングと事例検討
講 師： 武田相談員

【産業看護研修会】

日 時： 11/9（火） 14：00～16：00
研修テーマ： 『アルコールとの上手な付き合い方』
内 容： 年末年始のアルコールとの上手な付き合い方について共に考えましよう。
講 師： 福岡相談員

日 時： 12/14（火） 14：00～16：00
研修テーマ： 『保健指導パートⅢ』
内 容： ロールプレイング ※対象者：産業看護職
（前回のパートⅡが好評でしたので、新たにパートⅢを開催する事となりました。内容は、パートⅡとは変わります。）
講 師： 福岡相談員

【メンタルヘルス研修会】

日 時： 11/17（水） 14：00～16：00
研修テーマ： 『せん妄』
内 容： せん妄をきたす状態の理解とその対応について
講 師： 大月相談員

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

▼研修会の受付は3階共用会議室で行います。直接会議室へお越し下さい。

▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。

変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。

▼当センターの研修会、貸出教材、メールマガジン、ホームページの内容など各種事業に関する御意見、御要望を下記メールアドレスに E メールにて御遠慮なくお願いします。

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

■新規教材■

01-49 労働衛生のしおり 平成 22 年度

01-313 国民衛生の動向・厚生指標 増刊・第 57 巻第 9 号 通巻第 896 号

02-175 労働実務 事例研究 平成 22 年版

02-176 送検事例と労働災害 平成 22 年版

02-23 労働安全衛生関係法令集 平成 22 年度版

02-104-1 六法全書 平成 22 年度版 ①公法 刑事法 条約

02-104-2 六法全書 平成 22 年度版 ②民事法 社会法 産業法

02-131 医療六法 平成 22 年版

02-140 安全衛生法令要覧 平成 22 年度版

02-155 判例六法 平成 22 年版

02-156 安全衛生スタッフ便覧 平成 22 年度版

07-181 自殺対策白書 (平成 19 年版)

教材貸出はこちらから

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-kasidasi.html>

3 トピックス

■第 8 回女性医療フォーラムのお知らせ■

女性のワークライフバランスを考える ～晴れ晴れと生きるために～

日 時：11 月 13 日 (土) 13:00～17:00

会 場：岡山コンベンションセンター (ママカリフォーラム) イベントホール 1 F

※JR岡山駅中央改札口より徒歩約3分

内 容：各地の労災病院には、女性特有の疾病、職場環境の変化に起因する様々な心身の変調の訴えに対応する「女性外来」が設置されています。さらに女性医療の現状を分析・研究し今後のあり方を模索するため、女性医療フォーラムを岡山市にて開催することになりました。医療関係者に関わらず女性の働きやすい環境に関心をお持ちの方など多くの方の参加をお待ちしています。

備 考：入場無料

託児所完備（予約制、申し込み先着順、11/2（火）までにお申込下さい。）

問合せ：岡山労災病院 総務課 TEL（086）262-0131

詳細・お申込はこちら↓

<http://www.okayamah.rofuku.go.jp/assets/files/event/jyoseiiryoforamu.pdf>

4 産業保健相談回答例

■じん肺法施行規則別表に定める粉じん作業には、「鉱物」、「鉱石」、「土石」等の語が使われていますが、それぞれどのように定義されているのでしょうか。 ■

昭和54年7月11日付け基発第343号通達を参照。

① じん肺法の対象となる「じん肺」を起こす原因となる粉じんは、現在までの医学的知見からは無機性の粉じんです。有機性の粉じんの吸入によってじん肺が起こるとの医学的な合意が現在まで得られていません。

（注）石炭は、化学組成、物理的性質からは有機物であるとされていますが、石炭粉じんによりじん肺を起こすことが明らかにされておりますので、無機粉じんに含めております。

② じん肺法の適用範囲は、当該作業に従事する労働者がじん肺にかかる恐れがある

と認められる作業を「粉じん作業」と定義し、じん肺法施行規則別表に第1号から第24号までに例挙されております。

③ この「粉じん作業」に「鉱物」、「土石及び岩石」、「鉱石」等と表記されておりますが、それぞれ次のように定義されております。

イ 「鉱物」とは、一般には地殻中に存在して物理的、化学的にほぼ均一かつ、一定の性質を有する固体物質を指しますが、その人工物をも含みます。従って、鉱さい、活性白土、コンクリート、セメント、フライアッシュ、クリンカー、ガラス、人工研ま材（アルミナ、炭素けい素等）、耐火物、重質炭酸カルシウム、化学石膏等の人工物は鉱物に該当します。なお、天然には、金属単体よりなる鉱物もありますが、「粉じん作業」では「金属」という語も用いられておりますので、「鉱物」には「金属」は該当せず、また、単体の元素も該当しません。

ロ 「土石」及び「岩石」とは、いずれも一種又は数種の鉱物の集合体をいい、両者の相違は単に形状の相違によるものです。即ち、「岩石」とは、鉱物の集合体のうち、形状が岩状又は塊状のものをいい、このような形状以外のものを「土石」と総称しております。

ハ 「鉱石」とは、天然に産する土石又は岩石に限られ、人工的に合成されたものは含みません。主な「粉状の鉱石」としては、滑石、クレー、カオリン、長石、陶石等が該当します。

（産業保健Q&A検索システムより）

産業保健相談はこちらから

<http://www.okayama-sanpo.jp/3soudan.htm>

メールによる相談も24時間受け付けております。

<http://www.okayama-sanpo.jp/form-soudan.html>

5 編集後記

（広報活動の実施）

(社)岡山県労働基準協会各支部主催の衛生管理講習会が岡山県下7カ所で開催されました。約550名の出席者に対し、10分～15分という貴重な時間をいただきセンターの事業内容等、広報活動してきました。これからもどんどん広報活動をしていきたいと思えます。関係団体・事業場にも無料で出向いていきますので、一声かけていただけたら幸いに思えます。

(文責 業務係長 佐古)

次回の第33号は

11月1日(月)の配信予定です。

- ▼ メールマガジンの配信停止を希望される方、メールアドレス変更予定のある方は、こちらのアドレスからご連絡ください ⇒ (info@okayama-sanpo.jp)
- ▼ 教材情報・センター情報の詳細確認、利用申込等は下記のホームページURLからアクセスしてください。
- ▼ Eメールアドレスの変更、配信停止なども下記メールアドレスへお願いします。
- ▼ 著作権法の規定により、他者の著作物を私的な目的以外で複製することは禁止されていますので、必ず守ってください。
- ▼ 当メールマガジンは、リンク先サイトの内容やプライバシーについて、責任を負うものではありません。利用者自身の責任においてご利用ください。
- ▼ このメールは配信専用メールアドレスから配信されています。このまま返送いただいてもお答えできませんので、必ず info@okayama-sanpo.jp へ御返送ください。
- ▼ バックナンバーはホームページの「メールレターを配信しています!」に掲載しております。

■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□

独立行政法人 労働者健康福祉機構岡山産業保健推進センター

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井 2-1-3

岡山第一生命ビルディング 12階

TEL : 086-212-1222

FAX : 086-212-1223

H P : <http://www.okayama-sanpo.jp/>

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

